

## 大規模災害を想定し市役所本庁舎で 自衛隊と市が通信訓練



訓練で庁舎屋上に通信アンテナを設置する隊員

1月14日、市役所本庁舎で陸上自衛隊青野原駐屯地所属中隊と市が大規模災害発生時を想定した通信訓練を行いました。庁舎屋上に、音声やデータが同時に送受信できる通信アンテナを設置し、周波数を合わせ、駐屯地と連絡を取り合いました。

また、災害時に利用するシステムの情報共有などを行ったほか、各地で起きた災害の被害状況を伝える写真や新聞記事を展示。隊員が市職員に当時の活動状況を説明しました。

## 伝統芸能や文化を五感で楽しむ 歴史文化体感フェスタ in 丹波



プロと一緒に三番三を披露する子どもたち

1月19日、春日文化ホールと春日住民センターで子どもたちが日本の伝統芸能や文化を楽しむイベント「歴史文化体感フェスタ in 丹波」が開催されました。能楽や雅楽、丹波杜氏・麴文化など7つの体験ブースが設けられ、踊りや楽器を実演したり、甘酒を試飲するなど、各分野の魅力を五感で楽しみました。

また、子ども能楽師として、昨年夏から練習に励んだ丹波市内の小中学生12人によるステージもあり、プロと一緒に元気よく、三番三などを披露しました。

## 子どもまなご社会の実現に向けて たんば★子どもみらいトーク

1月13日、春日住民センターで、子どもたちが丹波市職員に意見を伝える「たんば★子どもみらいトーク」が開催されました。

子どもたちが安心して楽しく暮らしていける「子どもまなご社会」を実現するため、市職員が学校や学習の環境を良くすることなど、五つの目標を掲げていることを紹介し、子どもと大人のグループに分かれて意見交換を実施。「広い公園が欲しい」「飲食店やレジャー施設を充実させて欲しい」など活発に意見が交わされました。



付箋に書かれた意見の解決策などを議論する参加者

## 巳年にちなみ蛇山に登る！ 150人が岩尾城歴史登山を満喫

1月19日、山南地域の蛇山山頂にある岩尾城跡に登る「岩尾城歴史登山」が開催されました。巳年にちなみ、ふるさと和田振興会が主催し、市内外から150人が参加。

参加者は岩尾城の歴史などについて講話を受けたあと、岩尾城太鼓に送られながら和田地域づくりセンターを出発。標高358メートルの蛇山を休憩や説明を挟みながら登りました。頂上では、織豊期の石垣のそばで弁当を食べるなど、和やかなひと時を過ごしていました。



登山道中にある城の「曲輪」について説明を受ける参加者

## 昨年終了の三ツ塚マラソン大会実行委員会 会計残金を市に寄附



林市長に目録を手渡す大下亨さん

1月20日、昨年5月に37年間の歴史に幕を閉じた「丹波市三ツ塚マラソン大会」の実行委員会会長の大下亨さんが市役所を訪れ、解散時の会計残金162万4,870円を丹波市に寄附しました。同大会は33回の開催で延べ約6万8,268人がエントリーするなど多くのランナーに親しまれてきました。

大下さんは、「第1回大会から運営に携わり、第19回大会から最後まで実行委員会会長を務めた大会が終わったのはさみしいが、今後の市のスポーツ振興に寄附金を役立てて欲しい」と話しました。

## 株式会社タケウチ未来製工が端布を詰めた土のう 「eco リサイクル土のうミライエ」を市に寄贈



林市長に eco リサイクル土のうミライエを手渡す竹内社長

1月28日、株式会社タケウチ未来製工が服の縫製の過程で生まれる端布と砂を詰めた土のう「eco リサイクル土のうミライエ」を市に寄贈しました。防水機能を備え、水害時に濡れても乾燥させれば繰り返し使用できるもので、市に寄贈された土のうは中央図書館に設置を予定しています。

竹内真泰社長は、「製造・使用時の両面でSDGsを意識したリサイクル土のう。軽くて女性や高齢者でも持ち運びやすいのが特徴。災害への備えとして役立てて欲しい」と話しました。

## 檜皮葺き職人に追ったドキュメンタリー映画で快挙 岡部さんが市長に受賞と上映会を報告

静岡県浜松市の映画監督、岡部聡さんが山南地域に伝わる技術である檜皮葺きの職人を追ったドキュメンタリー映画「Connect」を制作し、一昨年10月にイタリアで行われたモンテカティーニ国際短編映画祭で優秀佳作賞を受賞しました。昨年11月には同映画を再編集した短編映画「Continuations」がオランダのハーグ国際映画祭でベストドキュメンタリー賞を受賞。

1月21日には、やまなみホールで開催する同映画の上映会について市長に報告するため、市役所を訪れました。



映画祭で受賞したトロフィーや上映会のチラシを手にする村上貢章さん、常岡芳朗さん、岡部聡さん（写真左から）

## 水分れフィールドミュージアムで 檜皮葺き体験

2月1日、水分れフィールドミュージアムで檜皮葺き体験教室が開催されました。参加者は職人から檜皮葺きの歴史や技術を教わりながら、竹釘を使った屋根葺きを体験。職人が屋根葺きを実演する場面では、熟練の技が参加者の目を奪いました。

参加者は、「ユネスコ無形文化遺産にもなっている技術を体験できて良かった」「鉄の釘は打ったことがあるけど、竹釘は初めて」と目を輝かせながら話しました。



職人による屋根葺きの実演を見守る参加者